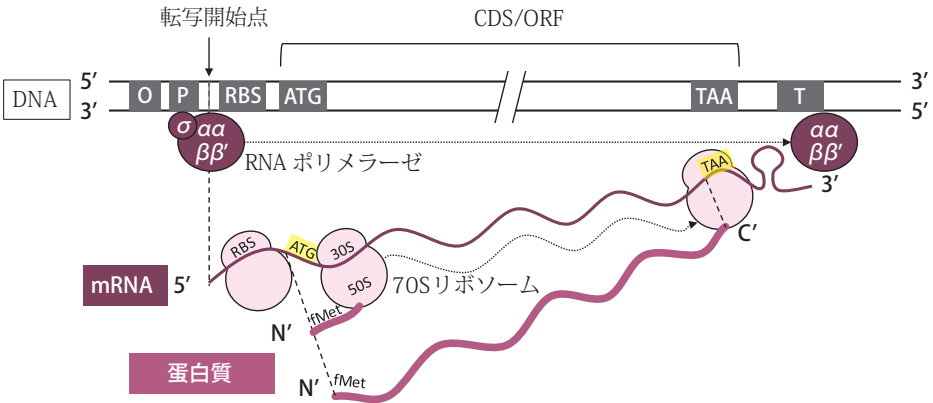
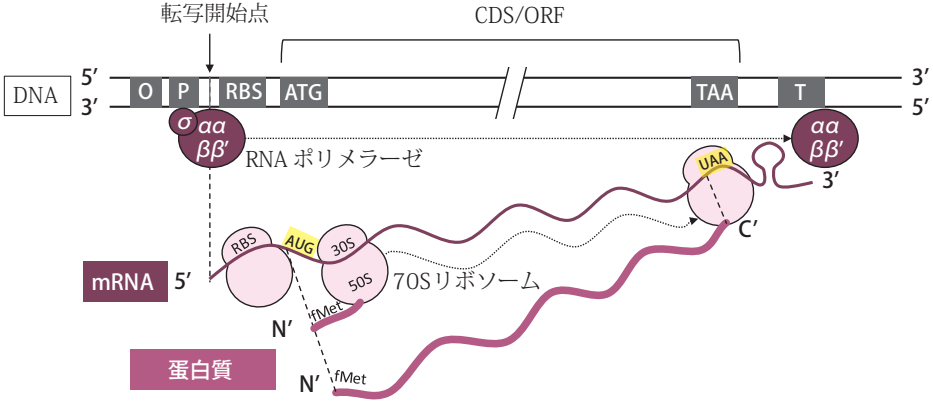
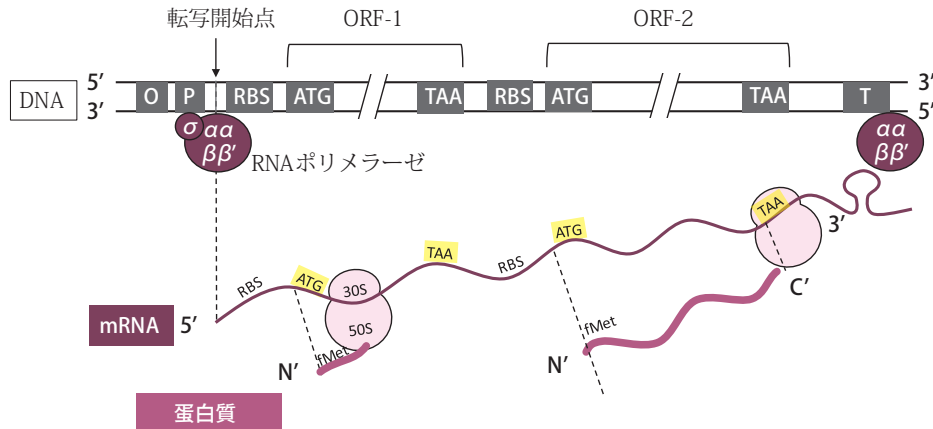
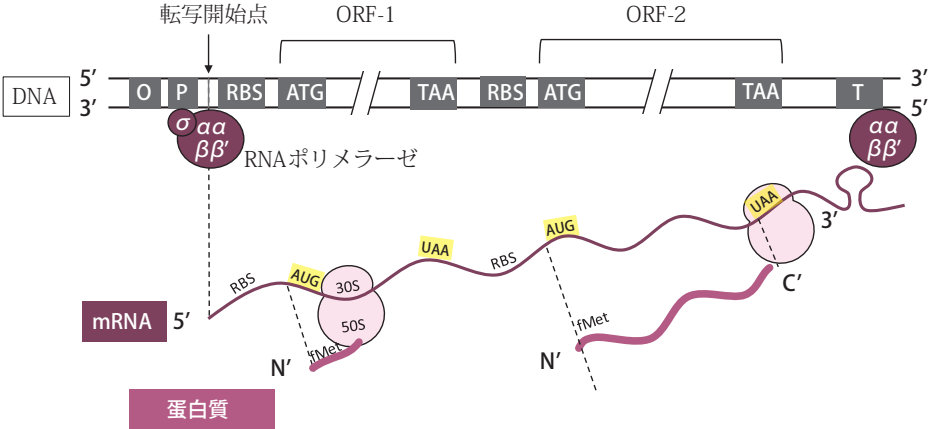
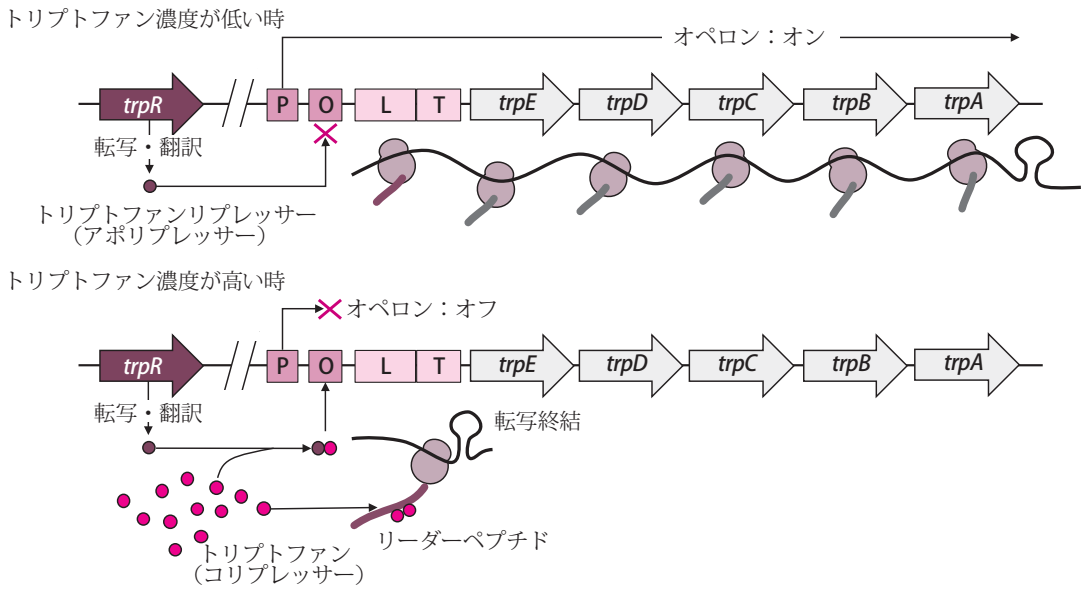
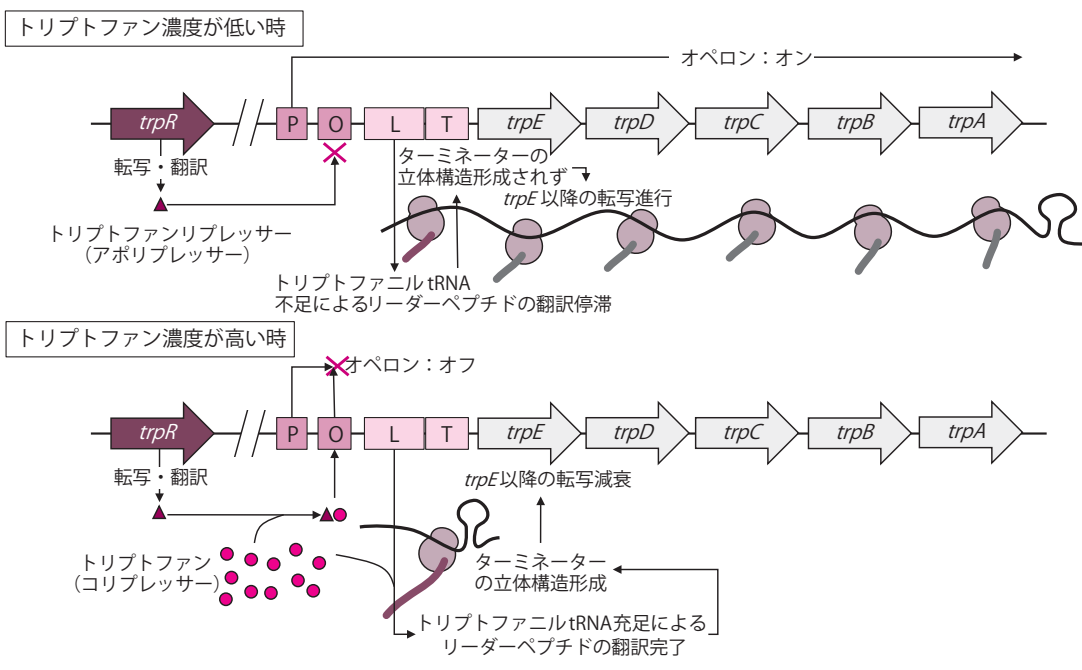


	誤	正
58 頁 図 4-16	部分差替え  図 4-16 細菌における転写・翻訳の基本的な流れ RNA ポリメラーゼと結合したσ因子が DNA 上のプロモーター配列 (P) を認識すると、RNA ポリメラーゼが転写開始点より転写を始め、mRNA が合成される。次に、mRNA 上の RBS [リボソーム結合部位:シャインダルガノ (SD) 配列] にリボソームが結合すると、開始コドンから蛋白質への翻訳が開始される。O:オペレーター、RBS:リボソーム接合部位、ATG:開始コドン、TAA:終始コドン、T:翻訳、fMet:フォルミルメチオニン、CDS:蛋白質コード領域、ORF:オープンリーディングフレーム	部分差替え  図 4-16 細菌における転写・翻訳の基本的な流れ RNA ポリメラーゼと結合したσ因子が DNA 上のプロモーター配列 (P) を認識すると、RNA ポリメラーゼが転写開始点より転写を始め、mRNA が合成される。次に、mRNA 上の RBS [リボソーム結合部位:シャインダルガノ (SD) 配列] にリボソームが結合すると、開始コドンから蛋白質への翻訳が開始される。O:オペレーター、RBS:リボソーム結合部位、ATG:開始コドン、TAA:終始コドン、T:翻訳、fMet:フォルミルメチオニン、CDS:蛋白質コード領域、ORF:オープンリーディングフレーム
59 頁 図 4-17	部分差替え  図 4-17 オペロンの転写・翻訳 細菌の染色体 DNA には 1 つの共通のプロモーターの下流に複数の CDS (ORF-1 および ORF-2) が並んでいることが多く、それらが 1 本の mRNA に転写される。この転写単位をオペロンと呼ぶ。合成された mRNA には各 ORF 直前の RBS にリボソームが結合し、独立して翻訳が行われるが、後述する転写後制御によって調節されることもある。 O:オペレーター、P:プロモーター配列、T:翻訳、RBS:リボソーム接合部位、ATG:開始コドン、TAA:終始コドン、CDS:蛋白質コード領域、ORF:オープンリーディングフレーム、fMet:フォルミルメチオニン	部分差替え  図 4-17 オペロンの転写・翻訳 細菌の染色体 DNA には 1 つの共通のプロモーターの下流に複数の CDS (ORF-1 および ORF-2) が並んでいることが多く、それらが 1 本の mRNA に転写される。この転写単位をオペロンと呼ぶ。合成された mRNA には各 ORF 直前の RBS にリボソームが結合し、独立して翻訳が行われるが、後述する転写後制御によって調節されることもある。 O:オペレーター、P:プロモーター配列、T:翻訳、RBS:リボソーム結合部位、ATG:開始コドン、TAA:終始コドン、CDS:蛋白質コード領域、ORF:オープンリーディングフレーム、fMet:フォルミルメチオニン
62 頁 図 4-21	全面差替え  図 4-21 トリプトファン生合成系 <i>trp</i> オペロンの制御の仕組み トリプトファン生合成オペロンのオン・オフは、細胞内トリプトファン濃度に基づいて制御されている。細胞内トリプトファンは、コリプレッサーとして抑制型転写調節に関与するほか、リーダーペプチド配列 (L) の翻訳を進めることで mRNA の転写を途中で終結させる転写減衰にも寄与している。 P:プロモーター配列、O:オペレーター、T:ターミネーター配列	全面差替え  図 4-21 トリプトファン生合成系 <i>trp</i> オペロンの制御の仕組み トリプトファン生合成オペロンのオン・オフは、細胞内トリプトファン濃度に基づいて制御されている。細胞内トリプトファンは、コリプレッサーとして抑制型転写調節に関与するほか、リーダーペプチド配列 (L) の翻訳を進めることで mRNA の転写を途中で終結させる転写減衰にも寄与している。 P:プロモーター配列、O:オペレーター、T:ターミネーター配列